まちの風景

2/24 短編映画「夢の舞台」撮影！

映画製作を通して地域の活性化や人材育成に取り組む、はすだFutureプロジェクト。これまでにプロジェクトが開催してきた俳優ワークショップの参加者が集まり、市内外で短編映画「夢の舞台」の撮影が行われました。監督、撮影、出演、衣装などを全てプロジェクトメンバーが担当し、監修を務めた福山功起さんの指導の下、一日がかりの撮影に挑みました。出演者たちは3か月にわたるけいこの成果を発揮し、個性豊かな演技を見せていました。

八木茂夫さんは、「台本を覚えるのも、役になりきるのも思っていた以上に難しかったです。また機会があれば演技に挑戦してみたいと思います。映画の完成が楽しみです」と振り返っていました。

はすぴぃが市役所敷地内をお散歩

3月3日、市役所敷地内に建設中の建物の工事現場を見に、はすぴぃがお散歩をしてきました。建物の名称は、「蓮田市役所西棟」に決定。西棟の一部には蓮田市シルバー人材センターの事務所が移転し、4月から開所する予定です。少し風が冷たいながらも春の陽気が感じられる日ざしの下、工事が着々と進んでいる現場の様子を、はすぴぃは興味深げに見つめていました。

布のリフォーム体験講座（2月22日・エコプラザ）

セーターが帽子に大変身！

毎回違うテーマで開催される布のリフォーム体験講座。今回は環境センターに集められたリサイクル品のセーターを使って、ミシンを使わずに、気軽に作れる帽子を手縫いしました。装飾のリボンやボタンも全てリサイクル品の中から選びました。参加者たちは、講師にアドバイスをもらいながら形や柄も世界に一つだけのオリジナルのベレー帽やニット帽を完成させていました。

2/23 ハストピア 平常時から備えの意識を

パネルディスカッションや避難訓練体験など、防災についてさまざまなアプローチをしてきた「蓮田市防災への備え」シンポジウム。今年は、日頃から備えておくことのたいせつさを伝えるため、「災害発生時における備え」をテーマに、講演を行いました。新型コロナウイルスの感染対策のため、主催者や講演者もマスク姿で登壇し、来場者へのマスクの配布も行うなど、万全の態勢での開催となりました。

講演では、蓮田桜台自主防災・防犯会の木村和夫さんが居宅避難の有用性や居宅避難時に備蓄しておくべき物などを説明し、埼玉県リーダー養成指導員の斎藤芳男さんが災害発生時に要支援者をサポートするためのコミュニティの在り方などを紹介しました。

めだかっこクラブ「おひなさま作り」（2月20日・黒浜保育園子育て支援センター）

かわいく出来たねおひなさま

親子でおひなさま作りにチャレンジ。子どもたちは初めて触るはさみに戸惑いながらも、お母さんといっしょに折り紙を切ったり、のり付けをしたりして手作りのおひなさまを完成させました。小出亜弓さん・朱莉ちゃん・光莉ちゃんは「おしゃべりしながら作ることができました。子どもも楽しんでいたのでまた参加したいです」と話してくれました。

Shall we ダンス？

音楽が流れだすと会場の空気は一変。色鮮やかな衣装を身にまとった参加者たちはタンゴやワルツ、サンバなどを優雅に踊りだしました。夫婦で参加していた遠矢範男さん・たか子さんは「ダンスサークルに所属していて、ダンスは15年続けています。得意な種目はルンバです」とリズミカルで息のぴったり合った踊りを見せてくれました。

市民ふれあいダンスパーティー（3月1日・パルシー）